

# 藝園と草牧



# 輸入牧草種子に混入する雑草の種類 II

岩見沢女子高等学校 教諭  
雪印種苗 K・K 上野幌育種場

横山 春男  
松原 守



学名：*Plantago lanceolata* L.  
英名：*Buckhorn plantain*  
和名をヘラオオバコといい多年生植物で我が国には明治の中頃から赤クローバ種子に混入して帰化しており、牧草地においてはさほど有害ではない。



学名：*Daucus Carota* L.  
英名：*Wild carrot, Queen Anne's Lace*  
又は *Birds Nest Weed*  
和名はノラニンジンといい、セリ科の2年生植物です。原産は地中海地方といわれ、日本では中部地方以西の海岸に近い路傍に帰化し自生している。アメリカオレゴン州の赤クローバ保証種子の制限雑草で混入数は1ポンド中に45粒を超えてはならないとされている。



学名：*Melandryum noctiflorum* Fries  
英名：*Night-flowering catchfly* 又は *Sticky Cockle*  
和名をマツヨイセンノウという1年生の植物で原産は、ヨーロッパ～アルタイ山脈（中央アジア）である。白クローバ等に混入することが多い。



学名：*Anthemis Cotula* L.  
英名：*Mayweed, Dog Fennel*, 又は *Fetid Chamomile*  
キク科で和名はカミツレモドキといい、1年生又は越冬2年生植物。原産はヨーロッパで北アメリカ、アジア、アフリカ、オーストラリアに分布し、日本では昭和6年横浜で初めて記録された。イネ科、マメ科の牧草種子に一般的に混入し畑地、牧草地、路傍、湿地に広くみられる。